

子どもの心の診療拠点病院事業 有識者会議 資料

国立成育医療研究センター

奥山 真紀子

調査方法

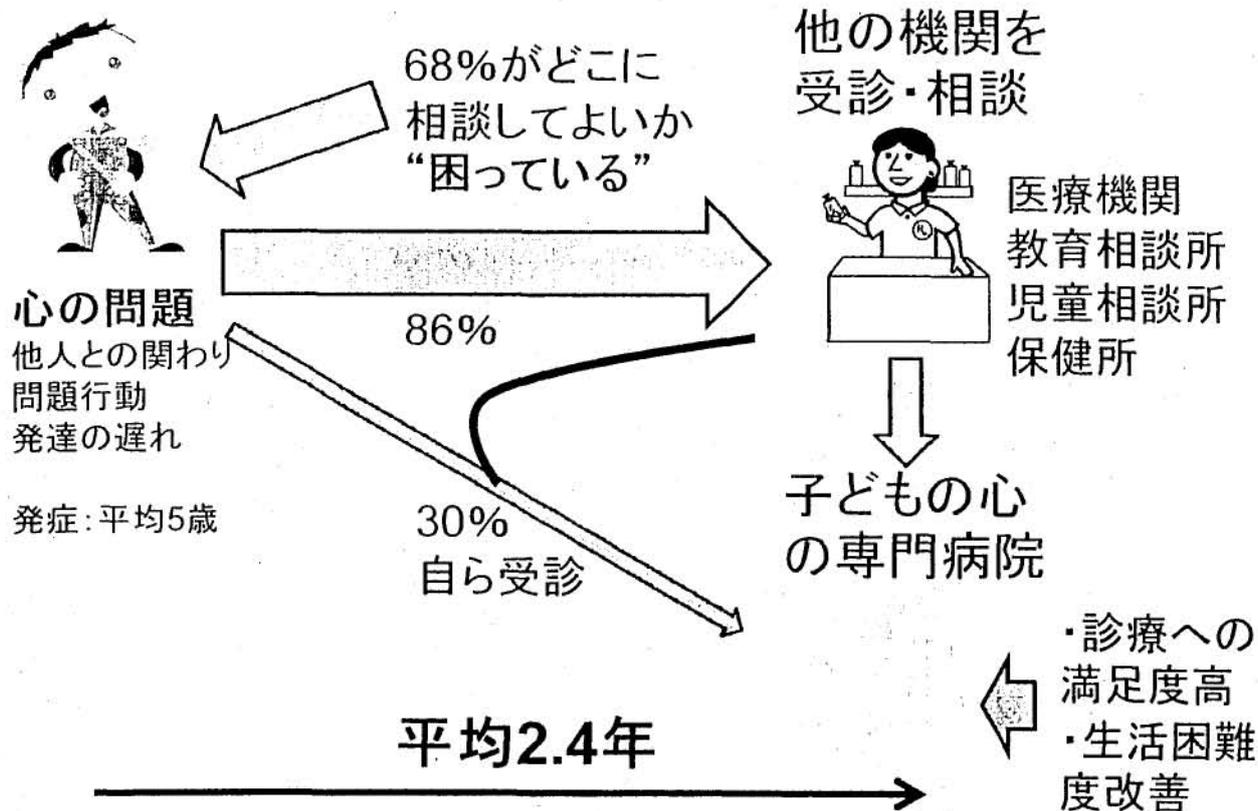
- 平成20年9月から平成21年2月までの間に対象医療機関を受診した初診・再診（再診は9月のみ）の患者に、診察を担当した医師から研究への参加を依頼し、参加を募った。
- 平成22年1～3月までの間に同医療機関を初診した患者さんに同様の調査を行った。

対象

- 全国における子どもの心の問題に関する専門病院(N=16)を受診した患者およびその家族に対し、質問紙により調査する。

宮城県こども総合センター	国立成育医療センター	あいち小児保健医療総合センター	香川小児病院
国立国際医療センター国府台病院	神奈川県立こども医療センター	三重県立小児心療センターあすなろ学園	医療法人 翠星会 松田病院
埼玉県立小児医療センター	静岡県立こども病院	大阪府立精神医療センター 松心園	国立病院機構鳥取医療センター
東京都立梅ヶ丘病院	信州大学医学部附属病院	神戸大学医学部附属病院	肥前精神医療センター

H21年度調査結果図



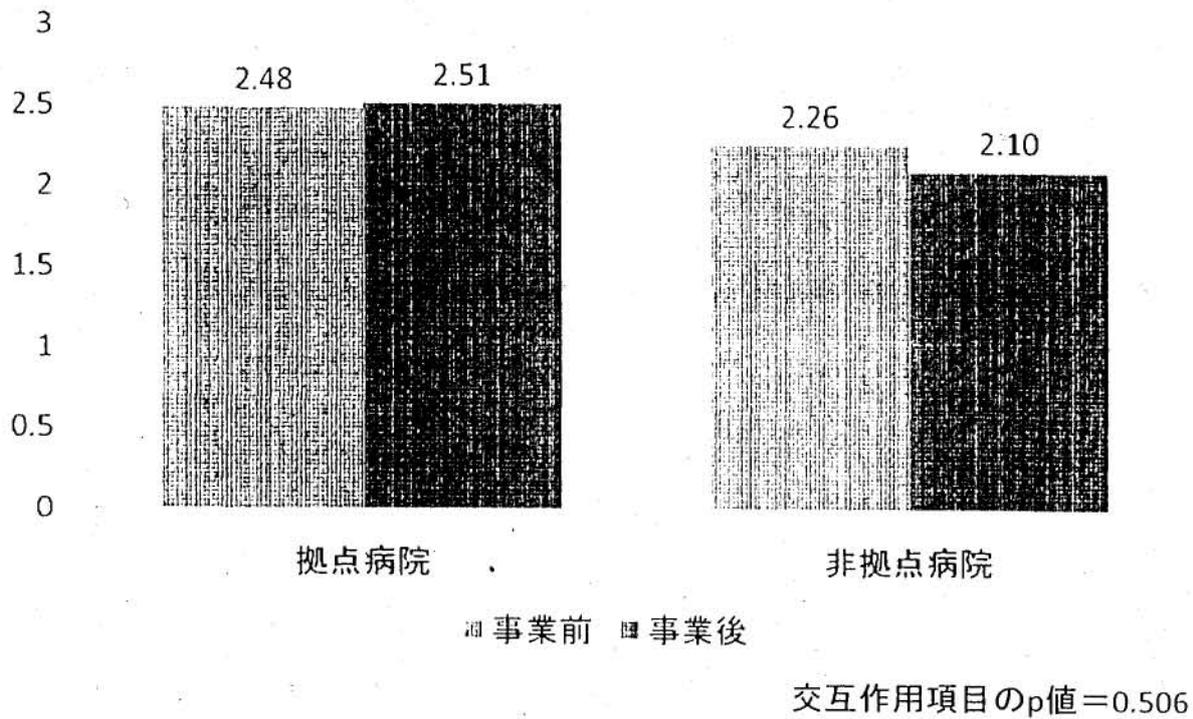
子どもの心の診療拠点病院事業評価

- 子どもの心の診療が円滑に行われることを目的に展開されている「子どもの心の診療拠点病院機構推進事業」の中間評価を行う。
- 拠点病院となった専門病院(N=8)とそうでない専門病院(N=8)において、事業の実施前(平成20年9月～平成21年3月、N=4,323)および実施後(平成22年1～3月、N=433)における①専門病院受診までの期間、②どこに相談すればよいかどの程度困ったか、について比較する。

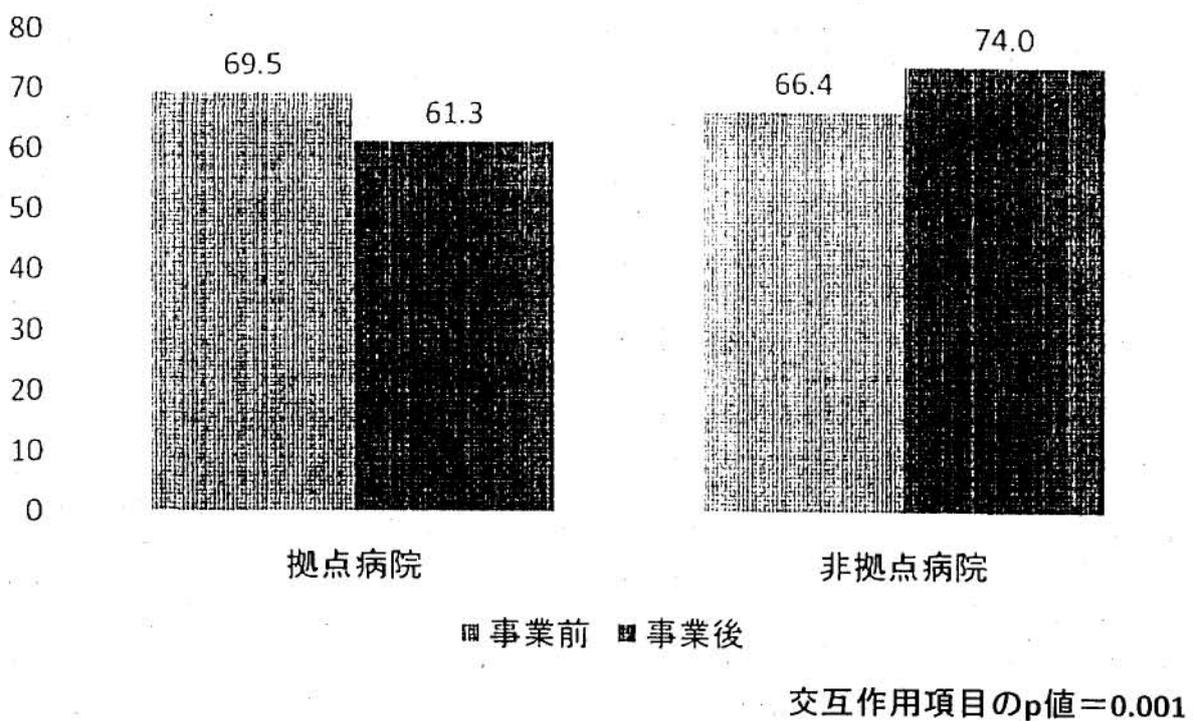
今回の分析概要

- 子どもの心の診療が円滑に行われることを目的に展開されている「子どもの心の診療拠点病院機構推進事業」の中間評価を行う。
- 拠点病院となった専門病院(N=8)とそうでない専門病院(N=8)において、事業の実施前(平成20年9月～平成21年3月、N=4,323)および実施後(平成22年1～3月、N=433)における①専門病院受診までの期間、②どこに相談すればよいかどの程度困ったか、について比較する。

専門病院受診までの期間 (N=4,650)

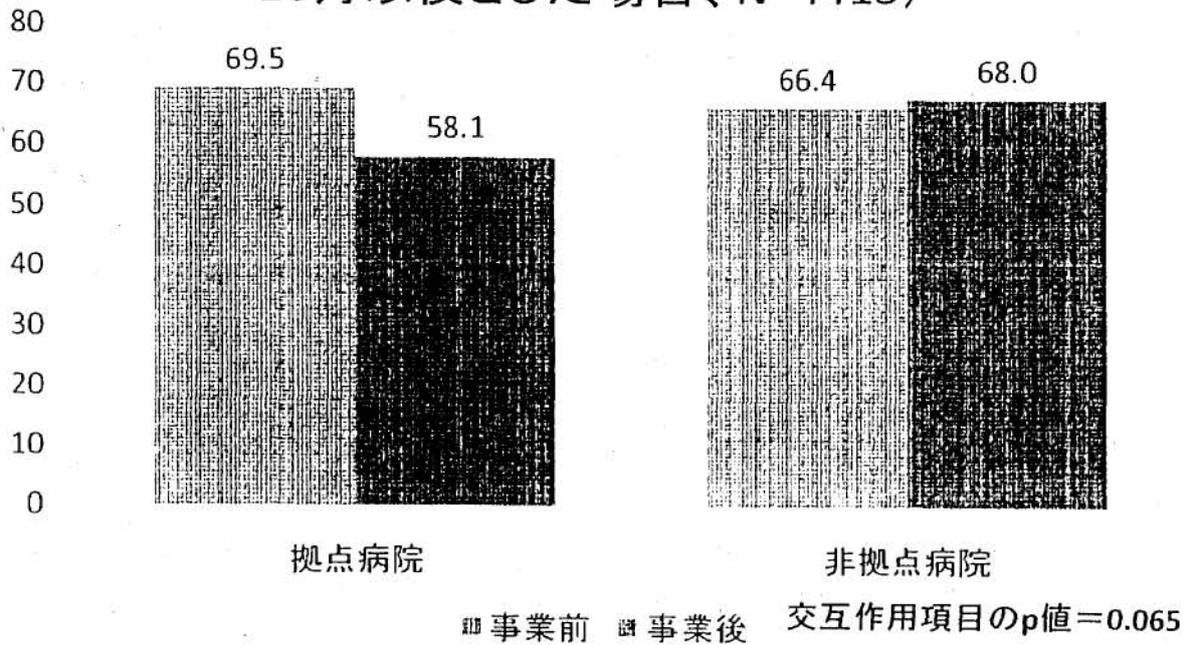


症状に気付いた時にどこに相談して いいか困った割合 (N=4,650)



症状に気付いた時にどこに相談していいか困った割合

(事業後のサンプルを症状に気付いた時期を2008年10月以後とした場合、N=4413)



症状に気付いた時にどこに相談していいか困った割合

(事業後のサンプルを症状に気付いた時期を2009年4月以後とした場合、N=4367)

